



平成 26 年度 9 月補正予算（案）の概要

1 補正予算の概要

今回の補正予算は、当初予算編成以後の情勢変化により、真に予算補正を必要とするもの、及び当初予算、6 月補正予算において調整する必要があったもので、一定の整理がついたものについて予算補正を行っています。

また、4 月 1 日付け人事異動に伴う人件費の予算調整や平成 25 年度の事業費精算により各種返還金を計上していることから、一般会計のほか、全ての特別会計において補正予算を計上しています。

なお、一般会計については、債務負担行為についても所要の補正を行っています。

2 補正予算の主な内容

I 歳入歳出予算補正

- 一般会計 141,044 千円（78,402 千円）
- 特別会計 85,477 千円（ — ）

※（ ）は人件費及び事業費精算による各種返還金を除いた実質的な補正額。

■財源内訳

（単位：千円）

	事業費	国庫	県費	市債	その他	一般財源
一 般 会 計	141,044	28,600	9,211	14,000	285	88,948
特 別 会 計	85,477	2,271	1,135	0	0	82,071
合 計	226,521	30,871	10,346	14,000	285	171,019

※事業費合計の内、人件費▲12,165、各種返還金160,284を計上しており、これらを除いた実質的な事業費は78,402（一般会計のみ）である。

■予算額累計

（単位：千円）

	予算現計	今回補正額	補正後予算額
一 般 会 計	22,316,936	141,044	22,457,980
特 別 会 計	12,431,703	85,477	12,517,180
合 計	34,748,639	226,521	34,975,160

Ⅱ 債務負担行為

(一般会計)

- ・ 山口県漁業経営緊急対策資金に係る山口県漁業信用基金協会に対する損失補償

期 間：平成 26 年度～平成 28 年度

■経済観光部 商工水産課

限度額：平成 26 年度に 300,000 千円を限度として貸付が行われる山口県漁業経営緊急対策資金について、山口県漁業信用基金協会が債務保証により生じる損失

の 1/3 に相当する額

3 補正予算計上の主な事業

■一般会計（新規 5 件、拡充 4 件）

(総務費)

※上段 () 書きは補正前の額

新規	庁舎整備検討委員会設置事業	479 千円	■企画総務部 総務課
目 的	東日本大震災の教訓を踏まえ、築50年以上が経過し老朽化が進んでいる市役所本庁舎を建替える必要があることから、庁舎整備検討委員会を設置し、改築に向けた協議を行い基本構想を策定する。		
事業概要	住民代表や有識者、公募による委員などの外部委員を含めた庁舎整備検討委員会を設置し、先進地視察及び基本構想策定のための協議・検討を行う。 ○庁舎整備検討委員会 20名程度、5回開催（視察を含む） 本年4月、庁舎改築について調査・検討するため、庁内検討委員会を設置し検討を進めた結果、平成27年度の早い段階で基本構想を策定する必要があることから、今年度中に庁舎整備検討委員会を設置し協議を進める。 なお、庁舎改築の財源として合併特例債を活用することから、発行期限である平成31年度末までの新庁舎完成を目指す。		
			予算書掲載頁 49

新規	過疎集落等自立再生対策事業	7,500 千円	■企画総務部 企画政策課
目 的	過疎集落における高齢化の進行等により、集落機能の維持・存続が危ぶまれている中で、地域の住民団体が行う過疎集落の機能維持や活性化のための総合的な取り組みについて、国の補助事業である過疎地域等自立活性化推進事業交付金を活用し支援する。		
事業概要	高齢化率の高い向津具地区において、既に独自の活動を展開しているNPO法人むかつくが実施する「向津具地区安心安全推進プロジェクト」に対して補助金を交付する。 1.実施主体 NPO法人むかつく 2.実施地域 向津具地区（14自治会、高齢化率50.9%） 3.取組内容 向津具地区安心安全推進プロジェクト ・安心安全確保事業…地区内将来動態調査、シンポジウム開催 ・生活支援サービス…災害時の食料確保の推進 ・地域間・世代間交流事業…担い手育成のための体制構築、高齢者サロンの開設など ・地域資源発信…地域情報紹介マップ作成、伝統文化の情報発信		
			予算書掲載頁 49

(農林水産業費)

拡充 成長戦略地域活性化プロジェクト推進事業 (1,450 千円) 5,200 千円 ■経済観光部 成長戦略推進課	
目 的	仙崎地区を交流拠点と位置付け、直売所（道の駅）と一体となって、官民が連携した社会基盤の整備による特色ある地域づくり、地域活性化を進めるために必要な施設整備等に係る仙崎地区ランドデザイン基本計画を策定する。
事業概要	9月末策定予定の仙崎地区ランドデザイン基本構想に引き続き、基本計画策定委員会を設置し、直売所・ウォーターフロント・まちなみ整備を盛り込んだ基本計画を策定する。 1.策定委員会 10名、4回開催 2.検討事項 (1)直売所整備…整備する施設の検討や管理運営計画など (2)ウォーターフロント整備…整備する施設の検討や立地計画など (3)まちなみ整備…ゾーニングや動線計画、整備項目など 3.特定財源 国の「官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業」を活用 補助金2,500千円（補助率1/2）
予算書掲載頁 65	

新規 美しい農村再生支援事業 2,600 千円 ■経済観光部 農林課	
目 的	地域住民等の参加により、美しい棚田や歴史ある疏水等を保全・承継する取り組みについて、今年度創設された国の補助事業である美しい農村再生支援事業を活用し、地域と行政が一体となって実施する。
事業概要	高齢化率の高い宇津賀地区において、日本の棚田100選にも認定されている東後畑地域の棚田等の保全活動を促進する取り組みを地域と行政が連携して実施する。 1.実施主体 長門市 2.実施地域 宇津賀地区（12自治会、高齢化率50.7%） 3.取組内容 棚田をはじめとした農村の美しい景観を保全・活用していくための計画策定等 (1)農村資源の保全・継承に向けた活動計画づくり…下関市立大学との連携による計画策定など (2)農村の歴史や伝統技術等の調査・分析及び情報発信…地域資源発掘とマップ作成など (3)農村資源を活用した価値向上・普及・情報発信…棚田景観の情報発信など
予算書掲載頁 65	

(商工費)

新規 大河ドラマ誘客推進事業 8,150 千円 ■経済観光部 観光課	
目 的	NHK大河ドラマ「花燃ゆ」の平成27年1月からの放映開始に伴い、長門市にしかない幕末の志士ゆかりの地としての優れた歴史文化資産を活用し、官民一体となって大河ドラマに関連した観光促進事業を展開することで、観光客の誘客を図る。
事業概要	明治初期に三隅二条窪で過ごした楫取素彦夫妻を中心とした企画展の開催や旧宅跡等を整備し、官民一体となって観光客をおもてなしする。 ①「楫取素彦夫妻と二条窪」を中心とした企画展の開催 ②楫取素彦旧宅跡地等の環境整備 ③散策マップ、のぼり等の作成 ④ドラマ館等を巡る有料観光バスの運行
予算書掲載頁 71	

(教育費)

新規	ラグビーワールドカップ2019キャンプ会場整備事業	3,100 千円 ■教育委員会 生涯学習スポーツ振興課
目 的	ラグビーワールドカップ2019日本大会のキャンプを招致することで、地域スポーツの振興と地域経済の活性化を図る。また、今後のスポーツ合宿や大会等の引き受けに対しても有効的に利用できる施設の整備を行う。	
事業概要	県の中山間地域づくり総合支援事業を活用し、キャンプ招致に必要とされる施設整備等計画の基礎調査を実施する。 1.キャンプ招致基礎調査 現況調査・分析、コンセプト計画、交流施設等整備計画の策定、効果分析等 2.特定財源 県中山間地域づくり総合支援事業の地域運営拠点等整備事業を活用 補助金1,550千円（補助率1/2）	
	予算書掲載頁 79	

➤その他の主な事業

(衛生費)

拡充	予防接種事業	(91,408千円) 12,779千円	■市民福祉部 健康増進課
拡充	田上浄水場整備事業（水道事業会計出資金）	(14,700千円) 6,015千円	■企画総務部 財 政 課

(消防費)

拡充	消防団員安全装備品整備事業	(775千円) 579千円	■消防本部 総 務 課
----	---------------	------------------	-------------

(災害復旧費)

現年公共土木施設災害復旧事業	(500千円) 24,000千円	■建設部 都市建設課
----------------	---------------------	------------

■特別会計

特別会計については、人件費及び事業費精算による各種返還金のみ。